

2020年1月25

日

# 鳥取県社保協通信

〒680-0833  
鳥取市末広温泉町  
571  
TEL0857(29)3598  
FAX0857(20)2143

## 「病院、なくしちゃ困る」と住民・医者ら

1月13日  
(米子)

1月13日、米子コンベンションセンターで「地域医療を考える学習交流集会」が開かれました。これは、昨年9月末に厚生労働省が再編や統合を検討すべき公立・公的病院のリストを発表したことを受けて企画されたもの。主催は県社保協と医療労働者の労働組合・鳥取県医労連がよびかけた「鳥取県地域医療と公立・公的病院を守る会準備会」です。参加者は、新聞で催しを知ったという島根県からの人も加え、会場いっぱい約70人。基調講演の後に行ったフロア討論では、患者、医療従事者、住民など11人が発言(次頁に概要)。

主催者からは、署名集めと地域単位での「会」の結成を呼びかけ、今後も地域医療を考える場をつくっていくことが報告されました。



### 県内の病院と懇談して …県医労連

県医労連の村口副委員長が、医労連が行った公的病院などの懇談について特別報告しました。今年は副町長や病院幹部が出席するなど例年の懇談とは対応が大きく違うこと、関係者から状況を聞くほど厚労省のやり方が乱暴で、人手不足の中でも住民のいのちを守ろうとしている医療者の努力をないがしろにすることである、とのべました。

## 厚労省の「リスト」発表は、地方の実情を無視

基調講演を行った日本医労連の瀧川聡氏は、今回の動きが、政府が連打してきた社会保障改悪政策の流れの中で起きていることも示しながら、今回の公立・公的病院リストの問題点を解説しました。

厚労省が病院のリストをつくる際、2つの要素(がん・心疾患・脳卒中・救急などで診療実績が特に少ない/一定数以上の診療実績を有する医療機関が2つ以上あり、かつお互いの所在地が近接(自動車移動で20分以内)している)に該当するかをみたと説明するが、問題がある、と指摘。各県で検討してきた医療構想を無視して、国の方針をおしつけるやり方は「地方自治」の原則から外れていることや、判断に使ったのが限定的なデータで、地域や病院の事情が反映されていない、医師不足の手立てをとらず、医師を一部に集めることで対応しようとしている、など7点の問題をあげました。

なお、医師は現在、不足するあまり、過労死ラインの働き方をしています。これを脱するためには2万人の増員が必要、ということも紹介されました。



## ■患者、医療従事者、地方議員など11人が発言■

**フロア討論では患者や公立病院の看護師らが次々発言しました。**

「各地から国に抗議や要請」**県保険医協会**…県内の医師、歯科医師の約8割入会する団体です。リストには衝撃を受け、国に抗議文と平井知事への激励の文書を送りました。各地域の協会も要請や抗議しています。

「病院ないと命がけ」**日南病院の患者**…報道には驚いた。家内と2人で毎月2回は日南病院に行きます。病院が無くなったら命がけです。存続の基本的な問題を、地域ごとに深めていかななくては行けん。

「私にできることは？」**境港済生会病院の患者**…糖尿病です。合併症のこともあり、色々な科にかからなければならず境港唯一の総合病院・済生会で診てもらっています。「住民がどれだけ頼りにしているか」考えてほしい。病院がリストに載って、私にできることを考えています。署名は集めます。

「近くに病院があって救われた」**西伯病院の患者**…過去に急性喉頭蓋炎になりました。息ができなくなって一番近い西伯病院に駆け込みました。夫も3年前に手術後に出血し、西伯病院で事なきを得ました。病院は地域の命の砦です。

「急性期の病院だけでは医療は成り立たない」**山陰労災病院 看護師**…今回リストに名前があがった病院と連



携しています。手術目的で来て、そのまま在宅に返すのが不安な患者さんは多く、他の病院に送ってワクッションおき、安心して帰っていただきます。リストにあがらなかった病院も患者を帰す所がなくなります。

「悔しい」**公立病院 看護師**…隣県の公立病院にいます。島根は4病院が名指しされましたが、私の病院が入らず不思議でした。病院は老朽化し耐震性もありません。ベッドも減らしました。市は病院「存続」の方針ですが、議会は反対が多い。病院は不採算部門も担い、夜間救急や中山間地域の医療もみています。職員の働きを分かってもらえず悔しいです。

「統廃合は、地域の拠点を奪うこと。民間・公立超えて」**鳥取医療生協役員**…岩美病院の記事に、4人の先生で100人の在宅患者を診ていました。病棟や外来をもちながら、高齢で来られない患者さんの元に足を運んでいる。すごいことです。この病院の統廃合は、地域医療を必死で守っている拠点を取ってしまうことです。また、民間病院は今回のリストに出ていませんが、厚労省は県に統廃合の参照にする民間病院のデータを渡しています。鳥取生協病院にも届きました。地域のベッドを削ることが政府の目的なので、公立の後は民間病院。公立・民間の垣根を超え、地域の患者、住民と私たち医療機関が連帯することだと思います。

「町議会全会一致で国に「撤回」求める意見書」**日南町 町議**…日南病院がリストに入り、12月議会で国や厚労省に撤回を求める意見書を採

択しました。町長は、「再編統合はありえん」「自治体病院を守ることが大切、厚労省は地方の実態を考えていない」と発言。議会も執行部も共に当該の病院を守る運動を展開しなければ。病院も町民と意見交換会を開く予定です。

「今日は委員長も参加」**南部町 町議**…南部町も白紙撤回を求める意見書を全員一致で採決しました。今日は町議3人、意見書をまとめた委員長も来ています。院長は、厚労省はリストの「白紙撤回」を表明しない限り強行するだろうと指摘。病院の医療と住み続けることができる町を皆で考えていきます。

「シンポを計画」**南部町民**…人口減の中で南部町の将来を考え、町づくりで公立病院をどう位置づけたらいいのか、そして国の病院再編の動きに地域ぐるみで考えたいと2月22日に、高田院長を招き「公立病院のある町づくりを考えるシンポジウム」を行います。

「済生会の役割は大きい」**境港市議**…済生会総合病院は自治体病院と同じ役割を果たしていることは市長も議会で認めています。市内唯一の総合病院というだけでなく、洋上救急に対応し、感染症の対応も担っています。数少ない無料低額診療も行っています。済生会は全国80病院のうち20病院がリストアップされているそうです。市議会では国への意見書を3月議会には準備しようと話しています。「リストの撤回」を必ず入れたい。署名にも取り組みながら、済生会、応援しましょうと訴えたい。